

継続事業評価シート

評価実施日 令和4年3月31日

令和3年度(5年目)

事業コード	5	事業名	若手後継者向けセミナーの実施			戦略コード	1	戦略名	育て・挑戦を支える商工会		
商工会名	潟上市商工会	担当者名	原田 武史	総轄者名	安田 幸博	施策コード	2	施策名	事業承継候補者へのアプローチ強化とサポート体制整備		

【事業内容】

1. 事業実施当初の背景

地域の中小企業及び小規模事業者の経営者の高齢化に伴い、事業の継続が困難に陥るケースが増えており、地域経済の持続的発展のためにも、計画的かつ円滑な事業承継を実現することが必要となっていた。

2. 事業のねらい

事業承継の関心と理解を深め、円滑な事業承継の推進を図ることを目的に、事業承継セミナーを開催し、事業承継を進めるための第一歩の機会を提供する。

3. これまでの評価結果

過年度	H29	—	H30	B	R1	B	R2	A
-----	-----	---	-----	---	----	---	----	---

- ・身近な経営者(青年部OB)を講師とし、事業承継に関する具体例・実践例を学んだ。
- ・事業承継について、継続的なセミナー開催が望まれている。

4. 昨年度の評価(対応方針)に対する対応

- ・青年部を対象とした事業承継セミナーを開催し、事業承継に対する意識醸成につなげた。
- ・事業承継に関する情報提供並びに外部セミナー開催情報の提供を行った。

5. 事業内容と実績 達成度:a(事業を完遂した)、b(事業に着手したが未遂行)、c(事業に着手しなかった)

事業内容	実績	達成度
・青年部主催による事業承継に関するセミナーの継続実施 ・外部セミナー受講による事業承継に関する基礎的知識の習得	青年部員に対する集中的な事業承継支援によって、事業承継実現が5年間で3件に至った。	a

6. 評価指標と実績 達成度: a(達成率が100%以上)、b(100%未満80%以上)、c(80%未満)

項目	項目					項目					項目						
年度	H29	H30	R1	R2	R3	年度	H29	H30	R1	R2	R3	年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標						目標						目標					
実績						実績						実績					
達成率						達成率						達成率					
達成度						達成度						達成度					

【事業評価】

1. 3つの観点からの評価

【必要性の観点】 現状の課題に照らした妥当性 現状の課題に a(対応している) b(一部対応している) c(対応していない) a

〈評価の理由〉

- ・講師から事業承継体験談を聞くことで、経営者である親とのコミュニケーションの重要性を学ぶとともに、事業承継への意識向上へつなげることができた。
- ・外部セミナー受講により多様な事業承継の実例やノウハウを習得できた。

【有効性の観点】 事業目標の達成状況 【事業内容】「5. 事業内容と実績」「6. 評価指標と実績」の達成度が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) a

〈事業の目標は達成されているかどうか〉

- ・事業承継に関する情報提供や外部セミナー受講による基礎知識習得
- ・専門家派遣制度活用による承継の早期実現

【効率性の観点】 コスト(金銭・時間・人材)削減のための取組状況 コスト削減の取組は a(客観的で効果が高い) b(取り組んでいる) c(取り組んでいない) a

〈コスト削減に向けた具体的な取組内容または取り組んでいない理由〉

- ・身近な青年部OBを講師とすることにより、開催にかかるコスト(金銭・時間等)抑制に取り組んだ。
- ・具体的な実例を学ぶことで、事業承継に関する意識の向上、効率的な知識習得に努めた。

2. 総合評価・理由 A(順調)3つの観点の評価結果がすべてa判定の場合 B(概ね順調)A、C以外の場合 C(改善が必要)3つの観点の評価結果がc判定2つ以上の場合 A

- ・身近な経営者(青年部OB)を講師としてセミナーを開催し、事業承継に関する意識の向上につながった。
- ・外部セミナー受講により承継の基礎知識を習得した。

3. 課題

- ・経営者と後継者の事業承継に対する意識の統合
- ・事業承継に対する認識の向上

4. 今後の対応方針(改善点)

早期に事業承継計画を策定することで、経営者並びに後継者の意識の統合を目指し、円滑な事業承継実現に向けた支援を行う。